



2018.2.10 s a t

第7回

地域活性化フォーラム

「支え合い・地域活動拠点と住民主体の地域づくり」

-住民主体の地域づくりが求められる中で-

高知県では、地域福祉計画を全市町村が策定するとともに、各市町村・地域で、共生型地域拠点や課題解決型活動拠点を活かしながら、住民主体の地域づくりに積極的に取り組まれています。今回のフォーラムでは、そのような積極的な地域づくりに取り組まれている3つの社会福祉協議会からご登壇いただき、特徴的な取り組み内容をご報告いただきながら、今後の地域づくりのあり方を考えます。

主催：高知県立大学地域教育研究センター（担当：地域連携課谷、宗石）
〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号
TEL:088-821-7125 FAX:088-821-7126
E-mail:aeru@cc.u-kochi.ac.jp



時間

13:30-17:00

開場 13:00

会場

高知県立大学 永国寺キャンパス
教育研究棟 1階 A101 講義室
※駐車場はありません
※申込不要・入場無料・定員 200名

スケジュール

13:30~13:45

開会

ご挨拶

清原 泰治

高知県立大学地域教育研究センター長

13:45~14:45

社会福祉協議会からの事例紹介

土佐清水市

西本 久美香氏 社会福祉協議会事務局長

本山町

久市 里美氏 社会福祉協議会事務局次長

佐川町

田村 佳久氏 社会福祉協議会事務局長

14:45~15:00

休憩

15:00~16:50

パネルディスカッション及びまとめ

[パネリスト]

土佐清水市

西本 久美香氏 社会福祉協議会事務局長

戎井 大城氏 土佐清水市健康推進課長

本山町

久市 里美氏 社会福祉協議会事務局次長

公文 理賀氏 地域包括支援センター所長

佐川町

田村 佳久氏 社会福祉協議会事務局長

田中 絵里子氏 健康福祉課保健師

[コーディネーター]

田中 きよむ

高知県立大学地域教育研究センター
地域課題研究部会長

17:00 閉会

第7回

地域活性化フォーラム

「支え合い・地域活動拠点と住民主体の地域づくり」

社会福祉法等の改正により、平成30年度から地域福祉計画が市町村の策定努力義務となり地域包括ケアや地域共生社会づくりが一層推進されていきます。

今日、経済的な側面だけではなく、孤立化・孤独死、人間関係・家族関係の問題、ネットワークづくりや居場所づくり、移動・移住支援や就労支援など、地域の生活課題も多様化するなかで、他人事ではなく「我が事」のように、部分的な支援ではなく地域「丸ごと」の支援が求められています。そのためには、専門職の方々には、保健・医療・福祉等を連携させた地域包括ケアが求められ、住民ベースでも、高齢者・障がい者・児童の垣根を越えた地域共生社会づくりが期待されています。そして、多様で複合的な地域生活課題に向き合いながら、住民主体の地域づくりが求められています。

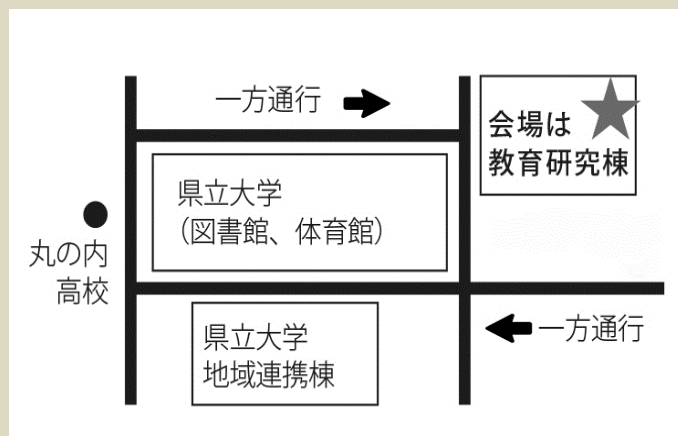
高知県では、地域福祉計画を全市町村が策定するとともに、各市町村・地域で、共生型地域拠点や課題解決型活動拠点を活かしながら、住民主体の地域づくりに積極的に取り組まれています。

今回のフォーラムでは、そのような積極的な地域づくりに取り組まれている3つの社会福祉協議会の方にご登壇いただき、特徴的な取組内容をご報告いただきながら、今後の地域づくりのあり方を考えます。ぜひ、多くのご来場をお待ち申し上げます。

高知県立大学地域教育研究センター

地域課題研究部会長 田中きよむ(社会福祉学部教授)

会場周辺地図



高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟 〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号